

第16回『このミステリーがすごい！』大賞決定！

大賞史上最年少 **ドイツ生まれの25歳** が大賞受賞！

優秀賞は、東大卒・男性コンビ作家と、現役弁護士がW受賞！

株式会社宝島社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：蓮見清一）が主催する、第16回『このミステリーがすごい！』大賞の受賞作が決定しました。

応募総数464作品の中から、1次選考（20作品通過）、2次選考（5作品通過）を経て、**第16回『このミステリーがすごい！』大賞・大賞は、蒼井碧（あおい・べき）氏『十三觸體（じゅうさんどくろ）』が受賞し、くろきすがや氏『カグラ』、田村和大（たむら・かずひろ）氏『自白採取』の2作品が優秀賞に選ばれました。**

大賞賞金は1200万円、優秀賞賞金は200万円（均等に分配）で、同3作品は2018年1月から順次、書籍化する予定です。

『このミステリーがすごい！』大賞は、ミステリー＆エンターテインメント作家・作品の発掘・育成を目的に、2002年に創設した新人賞です。これまで、第153回直木賞受賞者の東山彰良氏や、累計1000万部突破の『チーム・バチスタの栄光』シリーズの海堂尊氏などの作家を輩出してきました。受賞作品の多くはベストセラーとなり、『さよならドビュッシー』（中山七里、2013年映画化・主演：橋本愛、2016年テレビドラマ化・主演：黒島結菜・東出昌大）など、映像化作品も多数世に送り出しています。

受賞者の取材も可能ですので、是非、ご検討いただけますと幸いです。

『このミステリーがすごい！』大賞は、これからも新しい作家・作品を発掘・育成し、業界の活性化に寄与してまいります。

大賞 賞金1200万円



蒼井碧（あおい・べき）
『十三觸體（じゅうさんどくろ）』（仮）

2018年1月刊行予定

【あらすじ】“オーパーツ鑑定士”を名乗る、自分と瓜二つの顔を持つ男。水晶でつくられたドクロ、黄金のスペースシャトル……謎めくオーパーツと数々の殺人事件を奇人鑑定士が解き明かす！

優秀賞 賞金200万円（均等に分配）



くろきすがや
『カグラ』（仮）
2018年刊行予定

【あらすじ】トマトが枯死してしまう疫病の調査に乗り出す植物病理学者。怪死した旧友の研究が、奇病に対する特効薬になりうることを掴むが——。謎の遺伝子組み換え作物が、破滅の導火線に火を放つ！



田村和大（たむら・かずひろ）
『自白採取』（仮）
2018年刊行予定

【あらすじ】手堅い警察小説に練り込まれた非常識な発想。“現場と容疑者のものが一致している”はずのDNAに疑いをかけた警部補は、前代未聞の捜査を推し進めていくことになる

■『このミステリーがすごい！』大賞とは？

ミステリー＆エンターテインメントブックガイド『このミステリーがすごい！』を発行する宝島社が、新時代の新しいミステリー＆エンターテインメント作家・作品の発掘・育成を目的に、2002年に創設した新人賞。大賞賞金は文学賞最高額である1200万円。受賞作はすべて書籍化。第153回直木賞を受賞した東山彰良氏や、累計1000万部突破の『チーム・バチスタの栄光』シリーズの海堂尊氏などの作家を輩出している。受賞作品からは多数のベストセラーが生まれ、『警視庁捜査二課・郷間彩香 特命指揮官』（梶永正史・2015年テレビドラマ化）『一千兆円の身代金』（八木圭一・2015年テレビドラマ化）『果てしなき渴き』（深町秋生・2014年公開 映画タイトル『渴き。』）など、映像化作品も多数世に送り出している。また、受賞には及ばなかったものの将来性を感じる作品を「隠し玉」として、他の受賞作と同様に書籍化している。

大賞

賞金

1200万



タイトル『十三髑髏(じゅうさんどくろ)』(仮)

2018年1月 刊行予定

物理トリックを用いた
本格ミステリー

【あらすじ】“オーパーツ鑑定士”を名乗る、自分と瓜二つの顔を持つ男。水晶でつくられたドクロ、黄金のスペースシャトル……謎めくオーパーツと数々の殺人事件を奇人鑑定士が解き明かす！

執筆のきっかけは、「オーパーツを扱った本格ミステリーってあまり聞かないな」と思い至ったことが始まりでした。個人的にはミステリアスで魅力的なテーマだと思っていたので、だったら自分が先駆者になろうと覚悟を決め、執筆に取りかかりました。

常日頃からミステリーの醍醐味は「シナリオ」「キャラクター」「トリック」の3本柱だと考えているのですが、今作についてはとにかくこの3つが噛み合ったな、という手ごたえを感じていました。



蒼井 碧(あおい・べき)

1992年1月、ドイツ・デュッセルドルフ生まれ。東京都小平市で育ち、在住。上智大学法学部法律学科卒業(民法専攻)。昔から世界各地の文化や歴史に興味があり、世界史や日本史を勉学する。独学で、世界遺産について学び、2017年7月に世界遺産検定2級を取得。現在は自動車会社に勤務。

＜選評＞

・独特な世界観や個性的なキャラ、風変わりな事件に軽妙でテンポのいい話運びなど、すべてがバランスよく読ませていく。(吉野仁)

優秀賞

賞金200万
(均等に分配)

タイトル『カグラ』(仮)

2018年刊行予定

バイオサスペンス

【あらすじ】トマトが枯死してしまう疫病の調査に乗り出す植物病理学者。怪死した旧友の研究が、奇病に対する特効薬になりうることを掴むが——。謎の遺伝子組み換え作物が、破滅の導火線に火を放つ！

トマトみたいな可愛くて栄養のある野菜からミステリーやサスペンスを始めることなど誰も思い付かないだろう、こいつでどうだ！というオドカシ発想から書きました。

自分で人類の存亡に関わる大問題を作り出して、それから分子生物学者になったつもりで、必死に解決策を考えました。(那藤)



くろきすがや

●【写真左】那藤功一（なとう・こういち）1963年3月、青森県むつ市生まれ。東京都在住。

函館ラ・サール高校から東京大学経済学部へ進学し卒業。現在は、広告会社の営業部門に従事。仕事柄しゃべりは大の得意で、今後は、コントや漫才の台本の仕事などもしてみたいと熱意を燃やす。

●【写真右】菅谷淳夫（すがや・あつお）1965年9月、神奈川県小田原市生まれ。東京都在住。東京大学文学部美術史学科卒業後、フリーランスで美術系のライター業に従事。他にもフジテレビ「世にも奇妙な物語」の脚本や学習伝記まんがの脚本も手がける。

＜選評＞

・世界全体を滅ぼしかねない巨大な危機に主人公が立ち向かうことになる展開はすばらしくよくできているし、バイオS F的な設定も非常に優秀。(大森望)

優秀賞

賞金200万
(均等に分配)

タイトル『自白採取』(仮)

2018年刊行予定

警察サスペンス

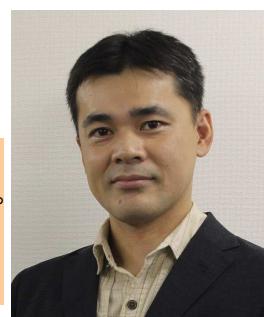
【あらすじ】手堅い警察小説に練り込まれた非常識な発想。“現場と容疑者のものとが一致している”はずのDNAに疑いをかけた警部補は、前代未聞の捜査を推し進めていくことになる——犯人たちの目的とは？

今年の元旦に作家になろうと心を決めました。本作は第二作目になります。

刑事案件を扱うなかで、DNA型が絶対的証拠のように扱われていることに疑問を持ちました。本当に万人不同なのか、作為の入り込む余地はないのか。そこでまったく別人なのに同じDNA型が検出されるトリックを考えたのが、本作執筆のきっかけで、執筆期間は構想一ヶ月半、執筆三ヶ月で書き上げました。

田村 和大(たむら・かずひろ)

1975年10月、神奈川県横浜市生まれ。福岡県福岡市で育ち、在住。鹿児島県のラ・サール学園高校卒業後、一橋大学法学部へ進学し卒業。報道記者志望のため、国際政治のゼミを専攻。NHK報道記者となり、広島放送局に赴任後退職し、司法試験に向け勉強したのち、現在は弁護士として従事。



＜選評＞

・主人公が腕利き捜査官ぶりを發揮する前半は快調のひと言。警察小説の新たな書き手として期待が持てる。(香山二三郎)

過去の受賞者には、ミリオンセラー作家や直木賞受賞者が！！

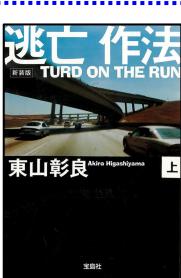


代表作『チーム・バチスターの栄光』 海堂尊(かいどう・たける) 第4回大賞受賞

1961年、千葉県生まれ。医学博士。第4回『このミステリーがすごい!』大賞受賞作『チーム・バチスターの栄光』にて2006年デビュー。2008年～2014年にかけて、伊藤淳史＆仲村トオル主演で映画化＆連続ドラマ化。

ミリオンセラー作家
シリーズ累計
1000万部突破！

2008年 阿部寛＆竹内結子 主演
映画化！
伊藤淳史＆仲村トオル 主演
映画化＆ドラマ化
(2014年) (2008年～)



代表作『逃亡作法 TURD ON THE RUN』 東山彰良(ひがしやま・あきら) 第1回大賞受賞

1968年、台湾生まれ。福岡県育ち。第1回『このミステリーがすごい!』大賞受賞作『逃亡作法 TURD ON THE RUN』にて2003年デビュー。『路傍』(集英社刊)にて第11回大蔵春彦賞を受賞。『流』(講談社刊)にて第153回直木賞を受賞。

第153回
直木賞
受賞作家

ベストセラー作家・映像化作品も多数！！



代表作『さよならドビュッシー』

中山七里(なかやま・しちり) 第8回大賞受賞

1961年、岐阜県生まれ。『さよならドビュッシー』にて第8回『このミステリーがすごい!』大賞受賞、2010年デビュー。2013年には橋本愛主演で同作が映画化。2016年には黒島結菜・東出昌大主演でドラマ化。2017年9月には『連続殺人鬼カエル男』の主要キャラクター・渡瀬が主人公となる『テミスの剣』(文藝春秋刊)が上川隆也主演でドラマ化。

2016年 黒島結菜＆東出昌大 主演

TVドラマ化！

2017年 上川隆也主演
TVドラマ化！

『さよならドビュッシー』シリーズ

累計120万部突破



代表作『生存者ゼロ』

安生正(あんじょう・ただし) 第11回大賞受賞

1958年、京都府生まれ。『生存者ゼロ』にて第11回『このミステリーがすごい!』大賞受賞、2013年デビュー。シリーズとして『ゼロの迎撃』『ゼロの激震』を刊行。いずれもベストセラーに。

『ゼロ』シリーズ

累計130万部突破

昨年受賞作もヒットしています！



大賞受賞作『がん消滅の裏 完全寛解の謎』

岩木一麻(いわき・かずま) 第15回大賞受賞

1976年、埼玉県生まれ。現在は千葉県在住。国立がん研究センター、放射線医学総合研究所で研究に従事。現在、医療系出版社編集部に勤務。第15回『このミステリーがすごい!』大賞受賞、2017年デビュー。

発行部数

16万部突破



優秀賞受賞作『京の縁結び 緑見屋の娘』

三好昌子(みよし・あきこ) 第15回優秀賞受賞

1958年、岡山県生まれ。現在は大阪府在住。主婦。嵯峨美術短期大学洋画科卒業。少林寺拳法を7年、居合道を8年続け、少林寺拳法初段、居合道二段を取得。第15回『このミステリーがすごい!』大賞 優秀賞受賞、2017年デビュー。

発行部数

20万部突破



隠し玉『スマホを落としただけなのに』

志駕晃(しが・あきら) 第15回隠し玉

1963年生まれ。神奈川県横浜市在住。明治大学商学部卒業。ニッポン放送入社後、「ウッチャンナンチャンのオールナイトニッポン」「中居正広のSome girl' SMAP」など多数のラジオ番組制作に関わる。第15回『このミステリーがすごい!』大賞の隠し玉として『スマホを落としただけなのに』で、2017年デビュー。

発行部数

13万部突破